

# 横浜市 麻しん流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

## 国内および横浜市内で麻しんが発生しています

### 【2025年第9週(2月24日～3月2日)までの概況】

- ✓ 横浜市内では、2025年2月までに2件の報告がありました。
- ✓ 2例とも、海外渡航歴がありました。
- ✓ 麻しんは感染力が強く、手洗い・マスクのみでは予防できません※<sup>1</sup>。
- ✓ 予防には、ワクチン接種が最も有効です※<sup>1</sup>。

※<sup>1</sup> [厚生労働省 麻しんについて](#)

#### 【麻しんとは?】

麻しんウイルスによる感染です。感染力が非常に強く、免疫をもっていない人が感染するとほぼ100%発症します。空気感染をするため、同じ空間にいただけで感染することがあります。症状は発熱、咳・鼻水・結膜充血(カタル症状)、口腔内の白い斑点(コプリック斑)、発疹です。発しんは耳後部→頸部→顔→体幹→上肢→下肢の順に現れます。肺炎や脳炎を合併すると、重症化することがあり注意が必要です。最も有効な予防方法は、2回※<sup>2</sup>のワクチン接種です。麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)を確実に接種しましょう。

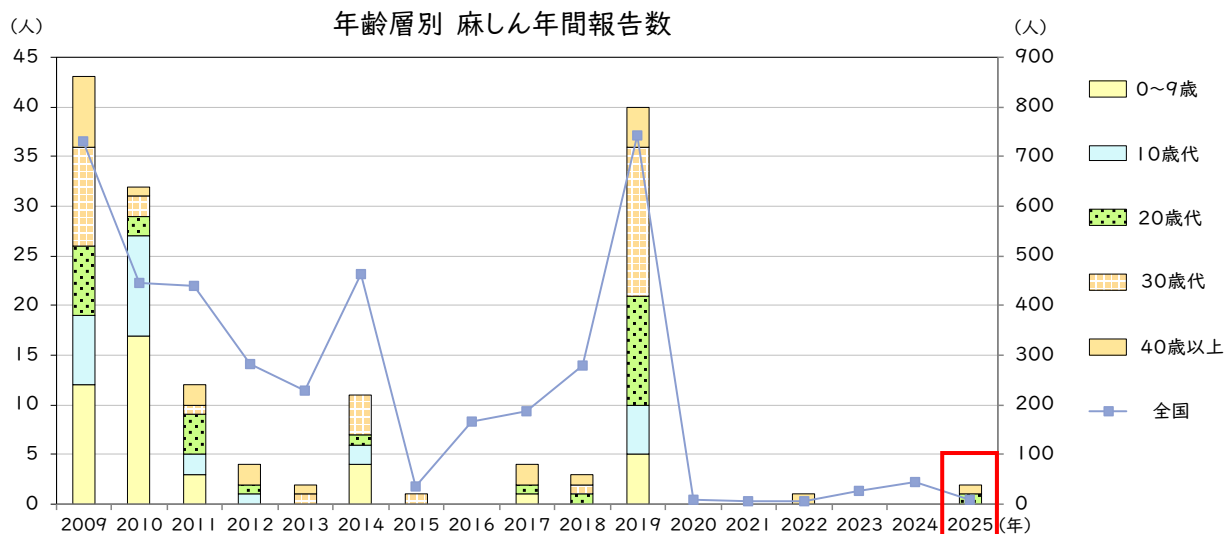
※<sup>2</sup> I期:生後12~24カ月、II期:小学校就学前1年間(5歳以上~7歳未満)



#### 【流行状況】

国内では第9週までに神奈川県※<sup>3</sup>・大阪府・岡山県で各2例、宮城県・東京都・愛知県で各1例の報告がありました。横浜市内では第9週に2件の報告があり、2件とも海外渡航歴がありました。

※<sup>3</sup> 神奈川県2例は、横浜市を含む



【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9237  
横浜市医療局健康安全課 TEL 045(671)2463